

2年

おもちゃの作り方をせつめいしよう  
～せつめいのしかたに気をつけて読み、それをいかして書こう～

### 1. 学習目標

おもちゃの作り方を分かりやすく書こう。

### 2. 指導の流れ（第11・12時／全14時）

教師の動き	指導のポイントなど
<p>1.めあての確認『おもちゃの作り方を分かりやすく書こう』 (ルーブリックと学習の流れを提示する。) 発問「前回考えた説明の仕方に沿って、『おもちゃの作り方』を書きます。みなさんは、どんな組み立てにしましたか。ワークシートに書いたことをふり返りましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ルーブリックは下記。</li></ul>
<p>2.「まず、何を作るかと、〈ざいりょうとどうぐ〉を書きましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料と道具はすでに書き出してある。 材料→道具の順で書くよう確認する。</li></ul>
<p>3.「〈作り方〉を書きましょう。」 「どんな説明の工夫がありましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「まず」や「つぎに」などの順序が分かる言葉を使う工夫。</li><li>・言葉だけでは分かりにくいところは絵や写真を使って説明する工夫。</li><li>・どれくらいの大きさなのか、何個使うのかをくわしく書く工夫。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・順序が分かる言葉を板書し、順序を意識づけるようにする。段落が多い場合は、「一ばん目に」「二ばん目に」などの書き方もあることを伝える</li></ul>

<p>4. 「〈楽しみ方〉もしくは〈あそび方〉を書きましょう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例文のように、〈楽しみ方もしくはあそび方〉と「呼びかけ」の二つの文章で書くようにするとよいことを確認する。</li> </ul>
<p>5. ルーブリックを用いて自己評価させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組み立てと順序を表す言葉について確認し、ふり返りを書く。</li> </ul>
<p>6. 本時をふり返り、次時の見通しを持つ。 「次は、書いた文章を読んでおもちゃを作ることができるか試してみよう。」</p>	

### 3. ルーブリック評価

	①はじめ。何の作り方をせつ明するか、〈ざいりょうとどうぐ〉について書いているか。	②中。〈作り方〉のじゅんじょがはっきり分かることばをつかって書いているか。	③終わり。〈あそび方〉か〈楽しみ方〉を書いているか。	④〈ざいりょうとどうぐ〉について、一年生にも分かることばで書いているか。	⑤ことばだけでは分かりにくいところの、絵をかいているか。
<p>おおむね満足できる状況(B)</p>	<p>まつぼっくりをつかったけん玉の作り方についてせつ明することばを書いている。〈ざいりょうとどうぐ〉について書いている。</p>	<p>「まず」「つぎに」「それから」や、「一ばん目に」「二ばん目に」「三ばん目に」など、じゅんじょが分かることばをつかって書いている。</p>	<p>まつぼっくりけん玉でどうやってあそぶかを分かりやすく書いている。</p>	<p>友だちにも読んでもらい、分かりやすいことばで書けているかかくにんし合う。</p>	<p>作るステップに合わせて、絵をかいている。</p>
<p>努力を要する状況(C)への支援</p>	<p>実際に作ったときのことを思い出したり、短冊にかいた文章を確認したりして、ワークシートに書くよう促す。</p>	<p>黒板の接続詞のカードや、教科書に印をつけた言葉を確認して書かせる。段落ごとに使い分けるよう伝える。</p>	<p>実際に遊んでみて、何がどうなるおもちゃなのか、言わせてから書かせる。</p>	<p>友だちや教師と読み合うことで、読みにくい部分を見つけて直せるよう支援する。</p>	<p>作る過程で、児童がどこで困ったかを思い出させ、その場面を絵に描かせる。</p>

